

「工業技術基礎」 シラバス

学科	みらい創造工学科	学年	1 年	類型		組	6 組	単位数	2
使用教科書	工業技術基礎（実教出版）								
副教材等									

1 学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の各分野における工業技術の進展への対応や事象の数理処理に必要な以下の資質・能力を身に付ける。

- ① 工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解する。
- ② 工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を養う。さらに、知的財産権等についても理解する。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

[illegible]

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	1 オリエンテーション 工業技術基礎の概要 安全教育 2 コンピュータ実習 Word の扱い方 3 旋盤の扱い方 基本操作の習得	・ 事故防止に努めながら安全に作業する心構えを身に付ける。 ・ Word の扱い方について身に付ける。 ・ 旋盤作業の基礎知識を身に付ける。	
二 学 期	4 ロボット制御の基礎 基礎的なロボット制御 5 測量 測量の基礎知識 昇降式水準測量	・ ロボット制御の基礎に必要な機器に関する知識・技能を身に付ける。 ・ 標高や2点間の高低差を求めるための器具の名称や器械の取り扱い、計算方法を身に付ける。	
三 学 期	6 材料試験 材料の基礎知識 セメントの強さ試験	・ コンクリート材料やその性質について理解する。 ・ セメントの性質・強さについて理解する。	

備考 (1)(2)(3)(4)については、全ての単元において評価項目として用いる。